

報道関係者各位

市内セブン-イレブンと連携し、高齢者の見守り活動を展開 ～市内約30店舗と地域包括支援センターの連携体制を構築～

茨木市は、包括連携協定を締結している株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 永松文彦）との連携事業として、認知症高齢者の見守り活動を実施しています。

市では、本取組をより幅広く周知するため、協力店舗に掲示いただく「高齢者見守り協力ステッカー」を制作しました。

5月21日（火）には、「セブン-イレブン茨木東太田2丁目店」で掲式を行います。ぜひ取材をご検討ください。



協力ステッカー

■認知症高齢者の見守り活動の概要

市が相談窓口として設置している地域包括支援センター（※）の職員が市内約30店舗のフランチャイズ店舗を訪問し、オーナーとの顔が見える関係性を構築する取組を実施しています。

日々の店舗運営の中で、認知症が疑われる方が来店された際に、同センターへ連絡・相談をいただくなど、顔が見える関係性だからこそできる実効性ある取組が進められています。

※ 地域包括支援センター

高齢者の皆さまが、住み慣れた地域で自分らしい生活を送り続けていただくために設置した総合相談窓口で、市内14か所に設置しています。

■掲式の概要

日時：令和6年5月21日（火）、午後2時00分から

内容：ステッカーの貼付、本取組に関する意見交換（15分程度を予定）

場所：セブン-イレブン茨木東太田2丁目店（茨木市東太田二丁目8-19）

出席者：（茨木市）

茨木市長 福岡洋一

（株式会社セブン-イレブン・ジャパン）

オペレーション本部関西ゾーン北摂地区ディストリクトマネジャー 岡井省二

ほか

当日取材等をご検討いただける場合には、お手数をおかけしますが、事前にも、下記の間合先までご連絡をいただきますようお願いいたします。

・担当：政策企画課 公民連携係 北富 電話：072-620-1605

【本件に関する問合先】



次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

・地域包括支援センターや高齢者の見守りに関すること

福祉部福祉総合相談課長 電話：072-655-2758

・企業との連携に関すること

企画財政部政策企画課長 電話：072-620-1605

参考1 店舗のバックヤードに掲示いただいている資料

認知症が疑われる方への対応と支援のヒントを記載するとともに、心配な方を見かけたら迷わずに地域包括支援センターへ連絡いただく旨を記載しています。

気になる高齢者への対応と支援のヒント		
	こんな行動をしていたら…	こんな対応をしてみてください！
店内	店内を長時間うろうろする	目線を合わせて声をかける 質問は1つずつ、ゆっくりと
	同じ商品を何度も購入する	行動を否定しない、見守る
	同じ話を繰り返す	話を受け止める 他の話題をもちかける
	機械の操作がわからない	短い言葉でわかりやすく伝える
レジ	お金の出し方がわからない (小銭があるのに紙幣を出す)	口頭に加え、数字で金額を示す お金を一緒に教える
	支払を済ませずに出ていく	優しく声をかけ、レジに誘導

心配な方を見かけたら

地域包括支援センターにご相談ください。

この地域の担当は
○○・○△・△□
地域包括支援センター

☎：
月～金 9:00～17:30

こんなときは警察へ！

- ・会話ができる状況ではない
- ・暴れている
- ・店内のものを壊す
- ・帰り道がわからない など



茨木童子見守りシールをつけている方は

QRコードを読み込むと、その方を担当している地域包括支援センターの連絡先が表示されますので、地域の担当ではなく表示されたセンターへご連絡ください。



参考2 見守り協カステッカー

本市の観光特任大使「いばらき童子」と、認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクターである「ロバ隊長」を組み合わせたデザインです。

※市内セブン・イレブン店舗に掲示予定（店舗により掲示状況は異なります）

